

タイトル『汐製菓会社の新作8 ポテチ4』

登場人物

- ・ 汐（しお）（30代）…汐製菓会社の社長。ユニークで型破りなアイデアマン。「面白きことも無き世を面白く」をモットーに、日々新しいお菓子を開発し続けている。快活で明るい性格。

- ・ 塩田（しおだ）（30代）…汐の秘書。真面目で、常に汐の突拍子もないアイデアに振り回される。しかし、実は大のお菓子好きであり、それが理由でこの製菓会社に就職した。

第一幕…アイデアの発端

（オフィスの中。汐のデスクは散らかっており、様々なポテトチップスのサンプル袋が置かれて
いる。）

汐「塩田君、今日は特別に新商品の開発会議を開くぞ！」

塩田「またですか、社長？この前の『ポテチ

3』は結局、誰も食べないほど辛いつてクレームが山ほど来ましたし…」

汐「ふっふっふ、今回は違う！前回の失敗を活かして、さらに進化したポテチが誕生するんだ。名付けて…『ポテチ4 トルティーヤ味』だ！」

塩田「…トルティーヤ味、ですか？社長、それってポテトチップスじゃなくてトルティーヤそのものになるんじゃない？」

汐「いやいや、ポテトチップスの形状と食感を保ちながら、トルティーヤの香ばしさを融合させるんだ！これで世界中の胃袋を掴むぞ！」

塩田「（困惑しながら）でも、トルティーヤ味のポテトチップスって、誰が食べたいんでしょうか…」

汐「冒険しなければ面白くないじゃないか！とにかく試作だ、試作を作ろう！」

塩田「（ため息をつきながら）わかりました…また振り回されるんですね…」

第二幕…試作の作成

（汐製菓の試作室。様々なスパイスや調味料が並んでいる。塩田はエプロンをつけ、汐は試作機械をいじっている。）

塩田「じゃあ、まずトルティーヤ味のベースとなるスパイスを…あれ？こんなに唐辛子を入れるんですか？」

汐「そうだ！香ばしさと辛さの絶妙なバランスが重要なんだよ！塩田君も一口食べてみるか？」

塩田「（不安げに）社長、前回も辛すぎて倒れかけましたけど…」

汐「大丈夫、大丈夫！今度は辛さ控えめだから。ほら、食べてみて。」

（塩田が試食する。彼女の顔が急激に真っ赤になるが、無理に笑顔を作る。）

塩田「（咳き込みながら）け、けっこう…ピリッと来ますね…」

汐「それがトルティーヤのエッセンスさ！でも、まだ何か足りない…何だろう？」

塩田「（息を整えながら）もしかして、もっとマイルドなチーズフレーバーを追加してみたらどうでしょうか？」

汐「そうだな！君もなかなかやるじゃないか、塩田君。チーズを追加して、よりメキシカンな味わいにしよう！」

（二人は機械を操作し、新たな試作ポテチを作成する。）

汐「完成だ！これで『ポテチ4 トルティーヤ味』の誕生だ！」

塩田「（不安げに）本当にこれで大丈夫なんでしょうか…」

第三幕…試食会

（汐製菓の試食会場。社内スタッフや外国人のモニターが集まっている。汐は自信满满で新商品を紹介している。）

汐「皆さん、お待たせしました！こちらが汐製菓の新作、ポテチ4 トルティーヤ味です！ぜひお試しください！」

（スタッフたちがポテチを食べ始める。最初は怪訝そうな顔をするが、徐々に反応が変わる。）

スタッフA「あれ？これ、意外と美味しいかも
…」

スタッフB「チーズの風味が良いアクセントに
なってますね。」

外国人モニター1「(日本語で)オイシイ！ト
ルテイーヤノカンジガスキ！」

外国人モニター2「(日本語で)コレ、メキシコ
デモウケルヨ！」

塩田「(驚きながら)本当に好評ですね…」

汐「ふっふっふ、見たか塩田君！この奇想天
外なアイデアが受け入れられるとは思わなか
っただろう！」

塩田「確かに…でも、なんだか癖になりそうな
味ですね。これなら国内外の人々にも受け入
れられるかも…」

第四幕…発売後の反響

（発売から数週間後のオフィス。塩田が新聞記事を読みながら慌てている。）

塩田「社長！『ポテチ4 トルティーヤ味』が大ヒットしてます！海外のメディアにも取り上げられていて、注文が殺到してます！」

汐「（笑いながら）やはりな！冒険する価値があっただろう？」

塩田「でも、こんなに注文が来るとは思いませんでした…製造ラインがパンクしそうです！」

汐「それもまた、面白いことだろう？さあ、次は何を作るか考えようか。」

塩田「ええ！？もう次ですか！？まだ『ポテチ4』の対応が…」

汐「次は…そうだな、甘いポテチもありだな。」

『ポテチ5』はチョコレート味にするか！」

塩田「（頭を抱えながら）社長、お願いですから少し休んでください…」

汐「面白いことを追い求めている限り、休んでいる暇はないさ！行くぞ、塩田君！」

塩田「（苦笑いしながら）わかりました…社長に一生ついていきます…」

（汐と塩田が次のプロジェクトに向かってオフィスを出ていく。）

終幕

（ナレーション）

ナレーション「こうして汐製菓会社の新作『ポテチ4 トルティーヤ味』は大成功を収めた。しかし、社長・汐の奇想天外なアイデアは止まることを知らない。果たして次はどんなお菓子が誕生するのか？それは誰にも予測できない。だが、一つ確かなことは…彼の冒険はこれから続くのだ。」

（軽快な音楽が流れ、幕が下りる。）

完